国際化学肥料ニュース（2011 年 10 月）

肥料業界の 2011 年 10 月動態

＊ IFA から「世界農業の動きと肥料需給の中期的展望」及び「世界肥料と原料の供給／需要のバランス」の 2 件調査研究報告書が発表された。その概要は下記のとおりである。

リーマンショック後、落ち込んだ肥料需要は回復した。2009～2010 年度の実績では、前年度に比べ、南米とオーストラリアを除き、ほかの地域では肥料の消費量が大幅に増加した。2010～2011 年度では世界化学肥料の需要量が前年度より 5%増加し、1.721 億ドンに達する（N，P，Kの純成分で計算する。以下同）と予測する。内訳は窒素肥料とりん酸肥料はそれぞれ 2.1%と 6.7%増であるが、加里肥料は 15%増と高い増加率を示す。2011～2012 年度では肥料の需要増加率がやや低下し、2.5%増の 1.746 億トンとなる。内訳は窒素肥料 1.8%増、りん酸肥料 2.1%増、加里肥料 5.5%増。2015～2016 年度では、世界の化学肥料需要量が 1.911 億ドンに達し、年間の増加率が 2.6%である。なお、肥料需要の増加が最も多い地域は南米、東アジア、北米、南アジアの順である。

一方、供給の面では、2010～2015 年の 6 年間で世界中に 250 ヶ所に新たに肥料工場が建設し、投資総額 880 億ドル。2010～2015 年の期間中に窒素肥料の供給量が平均で年間 3.8%増、2015 年にアンモニア生産能力が 2.296 億トン、尿素 1.905 億トンに達する。2014 年以降は窒素肥料の大幅過剰現象が発生するだろう。窒素肥料生産能力の増加は主に東アジア、アフリカ、西アジア、南米、南アジアの地域で、逆にヨーロッパと北米地域が減少する。りん酸肥料では、2011 年度までに供給不足の可能性があるものの、2014 年以降は過剰になる可能性がある。2014～2015 年モロッコの大型りん酸肥料工場が相次いで完成することを受け、2015 年に 290 万トン（P2O5 計算）の過剰が生じるだろう。加里肥料では、2011～2015 年に 30 ヶ所の新規又は拡張の加里鉱山採掘と精製プロジェクトが進行中で、加里肥料の生産能力は 2010 年の 4270 万トンから 2015 年の 5960 万トン（K2O 計算）に増加する。2015 年度には北米が最大の加里肥料供給地で、シェアが 39%を占め、次いで、東ヨーロッパ、東アジア、西アジア、南米の順である。建設中の加里鉱山と精製工場が計画通りに完成すれば、2015 年に加里肥料の過剰量が 1600 万トン K2O に達するだろう。

＊ カナダ HCF 社と中国加里技術研究センターが共催した 2011 年第 2 回世界加里産業大会は 11 月 15～17 日にカナダの加里生産の中心地 Saskatoon 市に開催された。主な議題は世界加里産業の発展と改革、加里市場体系の構築、加里資源の利用と拡張、加里産業の投融資項目、加里探鉱と採掘、精製技術等である。

＊ 10 月 12 日、中国広西省南寧市で 2011 年窒素肥料業界販売会において、中国政府国家発展改革委員会経済貿易局商品三部の涂巧紅部長から次の情報を漏らした。2011 年 10

～12 月及び 2012 年度の化学肥料市場の安定運営を行うため、国家発展改革委員会はほかの政府部門と一緒に化学肥料の輸出を一層コントロールしなければならない。特に今年から表面化した NP 化成、10kg 以下小分け包装の化成肥料が多量輸出された問題については、明らかに関税政策上の不備で、それを制御する必要があり、来年から関税改定を視野に入れるとのことである。なお、関税改定に関する詳細内容を述べなかった。

＊ 11 月 1 日、中国政府国家発展改革委員会はそのホームページに非汎用化学肥料及び小分け包装化学肥料の輸出動向に注目して、今年第 4 四半期及び来年の国内肥料供給を確保し、価格を安定させるために新の政策を検討するという文章を公開した。その文章によれば、今年 1～9 月に中国が計 1224.0 万トンの化学肥料を輸出して、昨年同期より 18.4%増、特に 9 月だけで 241 万トン輸出した。今年の化学肥料の輸出特徴は、高い関税の尿素、DAP、MAP、ＮＰＫ化成肥料の輸出が大幅減少又は増加していないが、低い関税のＮＰ化成肥料、重過りん酸石灰、硫安、10kg 以下包装の化学肥料が大幅増加した。例えば、尿素輸出量が 191 万トン、48.3%減；NPK 化成肥料輸出量が 2 万トン、17.6%減；DAP と MAP はそれぞれ 288 万トンと 68 万トン、昨年とほぼ同様であった。NP 化成肥料輸出量が 235 万トン、4.6 倍増；重過りん酸石灰輸出量が 137 万トン、67.3%増；過りん酸石灰輸出量が 44 万トン、2.7 倍増；硫安輸出量 135 万トン、47.7%増、塩安輸出量 35 万トン、18.4%増、硝安輸出量 26 万トン、33.3%増；10kg 以下包装化学肥料輸出量 27 万トン、4.4 倍増であった。

＊ 9 月 27 日、ロシア Acron Group 傘下のカナダ North Atlantic Potash は RioTinto との間に加里資源の探鉱と鉱山建設について合弁会社を作る協力協定を締結した。この協定は North Atlantic Potash 社がカナダ Saskatchewan 州南部に所有している 9 ヶ所、総面積 2430km2 の加里探鉱と採掘権利を合弁会社に移し、それぞれ 60%と 40%の株式を持ち、18 月後、RioTinto 社に増資の権利があり、最大 80%株式を持つことができる。これは RioTinto 社が 2009 年 1 月に所有したアルゼンチンの加里鉱山とカナダ Regina 加里鉱山の採掘権をブラジルのヴァーレ社に売却した後、再び加里産業に復帰する行動である。

＊ イギリス GMC エネルギー社はベラルーシ政府から加里探鉱と採掘権利を購入する。GMC は 3 回に分けて、総額 15 億ドルをベラルーシに投資し、その加里資源を開発することにより、ベラルーシの経済復興に協力する。ベラルーシ大統領がすでに大統領令に署名した。

＊ アメリカ Mosaic 社は国内 2 ヶ所のアンモニア工場の拡張とブラジルヴァーレ社が持つペルーのりん鉱石採掘に参加する意向を固まった。Mosaic 社は自社のりん安生産に約

150 万トンアンモニア／年を使用するが、国内の 2 ヶ所アンモニア工場の生産量が合計 50 万トン／年しかなく、外部から 100 万トンを調達しなければならない。計画ではこの 2 ヶ所の生産能力を 100 万トン／年まで拡張し、投資額 10～11 億ドル。一方、ヴァーレはペルーBayovar りん鉱山の採掘量を現在 390 万トン／年から 580 万トン／年に増加する計画、Mosaic はその増産計画に 2 億ドルを投資する予定。

＊ 9 月 30 日、中国兗州石炭グループは傘下の兗州石炭カナダ資源社を通じて、カナダ Saskatchewan 州の 19 件加里資源探鉱権利を買取した。探鉱権の面積 5364km2 で、買取金額は 2.6 億ドル。

＊ ロシア Uralkali 社長は記者会見で Silvinit 社を吸収合併したことにより、新 Uralkali が 10 年間で 58 億ドルを投資し、加里生産能力を 80%増加させ、2021 年に 1900 万トン KCl に達する計画を発表した。その内訳は、2015 年までに Verhenekamsk 4 号鉱山に 7 億ドル投資し、生産能力を 150 万トン増加させ、Solikamsk 3 号鉱山に 10 億ドル投資し、生産能力を 200 万トン増加させ、また、2 億ドル投資し、Verhenekamsk 2 号、3 号鉱山、Solikamsk 2 号、3 号鉱山の現有生産設備と精製設備を更新し、100 万トンの生産能力増を図る。一方、Ust-Yaivinsk にある加里資源に 16 億ドル、Provodovsk にある加里資源に 24 億ドルをそれぞれ投資し、新たに塩化加里生産能力 530 万トンの加里鉱山と精製設備を建設する。なお、塩化加里生産能力の増強に必要な投資は現有鉱山の拡張には 420 ドル／トン、新規建設には 750 ドル／トンである。

大手各社の営業業績

＊ カナダ Potash Corp は第 3 四半期の営業業績を公表した。化学肥料の価格上昇の恩恵を受け、売上は昨年同期と比べて 47%増の 23.2 億ドル、純利益は 141%増の 8.26 億ドルであった。なお、加里肥料の生産量は 190 万トンであった。

肥料プラント新規建設

＊ オーストラリア Westfarmers は肥料子会社 CSBP 社を通じて、西オーストラリア州の Kminana 港にある硝安工場の拡張計画が政府環境省から建設許可をもらった。当該計画ではアンモニア生産能力を現在の 52 万トン／年から 93.6 万トンに、粒状硝安生産量を 42 万トン／年から 78 万トンに拡大する。投資額は 5500 万オーストラリアドル、2014 年完成する予定。

＊ カザフスタン Batys Potash 社はアクトベ州に加里肥料工場を建設する。投資額 2.02 億ドル、生産能力 83.3 万トン／年、2014～2015 年完成、2017 年に設計生産能力に達する。Batys Potash 社はカザフスタンのカスピ海沿岸に加里鉱山を所有する。

＊ 10 月 13 日、アフリカのカメルーン国家石油ガス社（SNH）はドイツの Ferrostaal AG 社との間にカメルーンに尿素工場を建設する契約を締結した。生産能力はアンモニア 60 万トン／年、尿素 70 万トン／年、投資総額 100 万ユーロ。製品は国内消費の他、輸出も視野に入る。なお、カメルーンの化学肥料輸入量は 2009 年 12.4 万トン、2010 年 14.8 万トンであった。

その他

＊ パキスタンが天然ガス不足で、尿素生産に支障が出た。化学肥料工場に対して、今年すでにガス供給停止日が 128 日に達し、尿素生産量が 140 万トン減少した。パキスタンには尿素メーカーが 4 社あり、生産能力が 410 万トンであるが、実際生産できるのは 210 万トンしかなかった。従って、さらに尿素 100 万トンの輸入が必要である。政府は 1.75 億ドルの資金を捻出し、30 万トン尿素の入札を行う予定である。

＊ チュニジアはりん鉱石の供給と運送に問題があり、DAP の生産に支障が出た模様。また、M'dhilla 工場の重過石生産ラインが再開されたが、物流に問題があり、製品を港に運ぶことが不調である。

＊ オーストラリアの West Potash 社は今年 10 月から西オーストラリア沿岸に加里鉱脈の詳細探鉱を開始する。西オーストラリア近海からカリウムを含有するグロコナイト（Glauconite）沈積帯が発見し、その面積が 2250km2 以上である。採掘方法、加里抽出技術等を開発・検討中。

＊ 中国税関から 2011 年 9 月の化学肥料輸出データを公表した。
MAP 輸出量 26.23 万トン、平均 FOB 価格 464.63 ドル／トン。昨年同期 20.31 万トン。
DAP 輸出量 53.14 万トン、平均 FOB 価格 808.77 ドル／トン。昨年同期 52.42 万トン。
尿素輸出量 45.77 万トン、平均 FOB 価格 454.35 ドル／トン。昨年同期 119.71 万トン。
N,P 化成輸出量 49.16 万トン、平均 FOB 価格 412.74 ドル／トン。昨年同期 11.01 万トン。
N,P,K 化成輸出量 20.2 トン、FOB 価格 406.83 ドル／トン。昨年同期 4226.3 トン。